



# こくろうよなご

号外  
2025年1月1日  
発行責任者 倉下文明  
編集 教宣部

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



## 我慢・自助努力は限界！ 仲間と共に前進しよう！

執行委員長 倉下 文明

組合員・ご家族の皆様、新年明けましておめでとうございませう。地本執行部を代表して、新年のご挨拶を申し上げます。

ロシアがウクライナに侵攻してから間もなく3年になろうとしています。またイスラエルとハマスの武力衝突も1年を過ぎました。世界の至るところで紛争が勃発し、罪もなき市民・取り分け無力な女性や子供が多く犠牲になる事実に大きな憤りを感じています。アメリカでは、「米国第一主義」を掲げるトランプ大統領が再登場、お隣の韓国では非常戒厳令が発せられるなど、世界が激しく揺れ動いています。身近な所では、この12月に島根原発2号機が再稼働、過酷事故のリスクを背負わされることになりました。こうし

た中迎える、2025年が、平和で穏やかな年になる事を願わずにはいられません。  
**現実味帯びる政権交代**

さて、昨年10月には、衆議院の解散総選挙が施行され、島根1区の亀井亜紀子候補が4月の補選に続いて連続当選を勝ち取る事が出来ましたが、石破首相が就任のご祝儀相場により、鳥取2区では現職の湯原俊二候補が惜敗を喫するなど悔しい結果ともなりました。衆議院選挙を全力で取り組んで頂いた組合員・ご家族・退職者の会の皆様に、紙面をお借りし心より御礼を申し上げます。

全国的には、石破首相が最低限の目標に掲げていた自公与党で過半数の目標を下回り、立憲民主党をはじめとした野党が大きく伸長しました。この間、旧統一教会との癒着・派閥パーティー券に見られる裏金疑惑など、利権政治がまかりとおる中で、大企業・金持ち優遇の政治が進められてきました。



にも、本年7月施行の参議院選挙における立憲野党の躍進を勝ち取らなければなりません。米子地方本部は、立憲民主党公認で私鉄労組出身の「もりやたかし」候補の推薦を決定しており、必勝に向け引続き皆様のご支援を宜しくお願い致します。

### 2050年問題を御旗に

昨年、JR貨物における「輪軸」組み立て時におけるデータの改ざん、JR東日本での東北新幹線の列車分離、JR東海では新幹線の保守用車両の衝突など、JRグループ全体の「安全・安定輸送」が問われるような事象が数多く発生しました。私たちの働く中国統括本部内でも、12月に入り布原駅構内での信号冒進や広石信号場構内での墜落事象、そして、退避不良も連続して発生するなど、安全が著しく脅かされているのが現状ではないでしょうか。「コロナ禍」では「高コスト体質」を理由に、コロナが明けたこの頃では、労働力人口が激減する「2050年問題」を御旗に各系統で徹底した効率化施策が進められてきました。

### 600兆円の内部留保！

24春闘は、33年ぶりの高水準での賃上げだと言われているですが、歴史的な物価高には追い付かず、実質賃金は低下を余儀なくされています。また、会社利益の配分である労働分配率も低下を続けています。一方で、大企業の貯えにあたる内部留保金は、600兆円にもなり、史上最高とも言われています。では、私たちの働くJR西日本はどうかでしょう。11月公表の第2四半期決算では、北陸新幹線延伸効果やインバウンド需要、構造改革などにより4期連続の増収・増益となりました。先に開催された全国代表者会議では、25春闘に向け6.1%、170000円の要求案が示されてきました。

### 変容する社会見据えて！

一昨年来、鳥取・島根県内の各自治体を訪問し、ローカル線をはじめとした公共交通の現状や課題などについて意見交換を継続して取り組んできています。その中でも、何処の自治体でもローカル線を巡る動向を注視し、行く末への危機感を持ち、利用促進などにも注力をされているというところです。高齢化や温暖化対策等、社会も変容を求められる中、これまでのように自動車偏重の政策や東京一極集中・過疎化に歯止めをかけ、鉄道など公共交通の利活用へと舵を切るべきだと考えます。

### 真摯な議論と行動を！

最後に、組織の問題です。私達国労は、「5年ビジョン」を掲げ、組織の拡大に全力を挙げ取り組んで来ましたが、残念ながら組織の趨勢を変えるには至りませんでした。今年、更なる組織再編に取り組みます。組合員各位の真摯な議論と行動をお願いし、ご挨拶に代えさせていただきます。

### 地本執行部一同

- 執行委員長 倉下文明
- 執行副委員長 青柳利寿
- 書記長 吾郷隆志
- 執行委員 細田 浩
- 会計監査 藤原輝明
- 会計監査 中原昭彦
- 書記 宮井明恵

本年も宜しく  
お願い致します。

